

新 ひとり親家庭相談支援アプリ開発等委託料

背景

○ひとり親家庭に対する支援については、どこに相談したら良いか窓口が分かりづらいことや、就業や子育て、経済的支援など多様な制度がある中で、個々の状況に応じた適切な支援にたどりつくことができているかどうか課題となっている。

○コロナ禍により、経済情勢が厳しさを増す中、その影響を受けやすいひとり親家庭の方々を確実に支援につなげていくため、支援制度や相談窓口などの情報を容易に把握できる仕組みを導入し、ひとり親家庭等就業・自立支援センターの相談支援体制を強化する必要がある。

事業の概要

デジタル化を推進！

新 ひとり親家庭相談支援アプリ開発等委託料 (国) 7,238千円 (母子家庭等対策費補助金、補助率10/10 ※R2年度第3次補正予算)

目的：ひとり親家庭が必要な支援につながり、自立に向けた適切な支援を受けられるよう、WEBアプリを活用したワンストップ相談体制の強化を図る。

事業内容

委託先：特定非営利活動法人GIFT (現在のひとり親家庭等就業・自立支援センター委託先)

委託方法：随意契約

業務内容：WEBアプリ開発、広報プロモーション(ポスター・リーフレット作成等)

WEBアプリの主な内容

- ①支援制度(県や居住市町村の助成事業、職業紹介、法律相談)、支援窓口、よくある質問・回答などの情報提供
 - ②WEB上での法律相談・専門家相談の予約
 - ③登録者へのプッシュ型情報提供(求人情報や資格講座、イベントの案内) など
- ※利用者登録することにより、居住する市町村や年齢・性別等に応じた求人情報が表示されるなど、必要な情報にたどりつきやすくなる。

導入のメリット

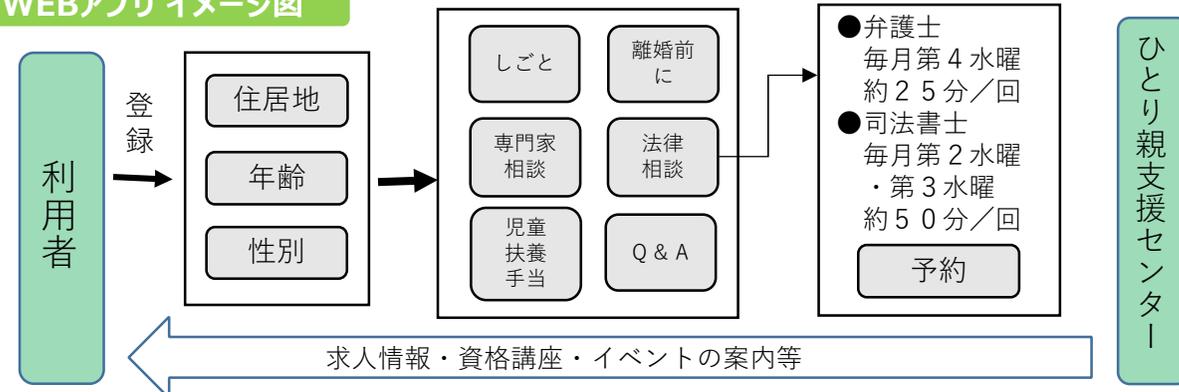
ひとり親家庭の方

- ・仕事や育児に忙しいひとり親が、支援窓口に出向かなくても、時間に関係なく自分に合った的確な情報をスマホ等から取得することができる。
- ・相談したい内容を整理することができ、個々の状況に応じた適切な支援にたどりつくことができる。

ひとり親家庭等就業・自立支援センター

- ・利用者につながりやすくなり、情報を積極的に発信できる。
 - ・相談(来所・電話)につなげるための入り口としても有効。
 - ・利用者側であらかじめ相談したい内容を整理できているため、効率的な支援ができるようになる。
- ⇒従来の相談対応業務の効率化につながり、相談員がアウトリーチ型支援に集中できるようになる。

WEBアプリイメージ図



今後の計画

(R3年度中)

- ・ひとり親家庭実態調査の結果を踏まえて、必要な支援策を盛り込んだ「高知県ひとり親家庭等自立促進計画」を改定(R4.4月～)
- ・WEBアプリを活用した相談支援体制の運用開始